

大久野島ビジターセンター 便り

Vol.1 (H17.9.1)

大久野島は、広島県竹原市忠海町の沖合いに位置する周囲約 4.3kmの小さな島です。昔は、日本陸軍の毒ガス工場が設置され、一度は地図から消された島でした。

現在は、砲台・発電所・毒ガス貯蔵庫等の跡地が残り、過去の歴史を物語っている一方で、豊かな自然や美しい島々の風景を見ることができます。そして、「瀬戸内海国立公園」の一部として、多くの人々に親しまれています。

そういった中で、皆さんに大久野島の自然や歴史、また瀬戸内海自然环境を知っていただくために平成15年春、大久野島ビジターセンターがオープンしました。

そして、この“大久野島ビジターセンター便り”では、大久野島の四季の風景を定期的にお届けしていきます。

9月の風景



みなさん、自生するキキョウを見たことはありますか？

キキョウは、山地や丘陵地の草原に生えています。根は薬用に利用されてきました。昔は“カヤ場”という共同の場所に群生していましたが、今では、野生の花を見ることが困難になってきているようです。

大久野島では、野生のキキョウを見ることができます。ウサギに食べられないように、丘陵地でひっそりと花を咲かせています。花期は、7～9月です。是非、大久野島に見にきて下さい。